

2022年11月14日

各位

会社名	株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代表者名	代表取締役社長 サイモン・グロヴィッチ (スタンダード コード: 3350)
問合せ先	取締役CFO 王生 貴久
電話番号	050-5835-0966

債務超過解消に向けた計画の進捗状況について

当社は、2022年2月14日に公表しております「2021年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の通り、2021年12月期会計年度末において債務超過となっております。

つきましては、2022年12月期第3四半期累計期間における債務超過解消に向けた取り組み及びその進捗状況について、以下の通りお知らせいたします。

なお、2022年3月29日に公表しております「債務超過の猶予期間入りに関するお知らせ」の「4. 今後の見通し」でお知らせしたとおり、2022年3月29日時点では債務超過の状態は解消されており、本日別途公表しております「2022年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の2022年9月30日現在の貸借対照表においても、債務超過の状態は解消されております。

記

1. 2022年12月期第3四半期決算の状況について

当社は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を受け、2022年12月期第3四半期連結累計期間において売上高307百万円、営業損失692百万円、経常損失623百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,476百万円を計上しました。

2. 債務超過の解消に向けた基本方針

当社は、事業収益構造改善のための諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、資本増強に向けた各種施策を推進し、当該状況の解消・改善に努めてまいります。

3. 基本方針を踏まえた取り組みの進捗状況について

(1) 当社ホテルの賃貸借契約終了

2022年3月11日に公表しております「当社ホテルの賃貸借契約終了及びそれに伴う特別利益の発生に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、当社が運営しておりましたホテル2

棟のリース契約を解約したことにより、リース債務の消滅等に伴う特別利益約 22 億 7000 万円を第 1 四半期で計上いたしました。この時点で、債務超過の状態は解消されております。さらに、2022 年 5 月 2 日に公表のとおり、タイのホテル運営事業からも撤退し、事業の見直しを進めております。また、2022 年 5 月 13 日には広島のホテル運営のリース契約の終了について、2022 年 7 月 15 日には東京都（浅草）のホテル運営のリース契約の終了について、それぞれ発表しております。

(2) 当社ホテルの営業の終了

当社は企業の存続をかけてあらゆるコストの見直し、事業の再構築を早急に進めております。当社戦略と照らし合わせ、2022 年 9 月 27 日にはレッドプラネット札幌すすきの南の営業の終了について、発表しております。

(3) 収益力の向上

当社グループでは、販売費及び一般管理費の徹底的なコスト削減を実施し、経営努力をしております。また、新たな収益源となるようなホテル以外の新規事業を検討してまいります。

(4) 資本政策の促進

増資を含めた新たな資金調達を検討してまいります。今後、当該資本政策が決定しましたら速やかにお知らせいたします。

以 上